

事務事業評価表

○基礎情報

課名		男女共同参画課	作成責任者
施策目標	15	互いが尊重され、あらゆる分野の活動に参画できる社会をつくる	多賀谷 悦子

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工
1 人	5 人	1 人	0 人	1 人	8.78 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
1.124 時間	18.7 時間

1 施策指標と実績 (Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H28年度	H29年度	H30年度
固定的性別役割分担意識	60.5%	62.0%	60.5%	64.0%	63.8%
男女の地位における平等感	26.0%	35.0%	26.0%	21.3%	23.6%
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	だれもが社会参画できる環境づくり
2	国際化に対応した行政サービスの提供と地域交流の支援
3	都市交流の促進
4	平和の尊さの啓発
5	0
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

7 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった

D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない

実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(平成30年度)

事務事業の取組結果と成果（効果）（Plan / Do）											Check		Action	
No.	事務事業 （第4次実施計画）	施策	従事者数	会計区分	H29予算(円) H29決算(円)	H30予算(円) H30決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生まれ 対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	H30目標値	H30実績値	評価	取組時間	事務改善	休止
1	平和啓発事業	4	0.44	一般	1,327,000	1,427,000	次世代を担う子どもたちへの啓発として、平成29年8月に寄贈された佐々木禎子さんの折り鶴を通して、ホノルル市・郡の高校生ボランティアとの交流を図ることや、「平和のつどい」の開催をはじめ、各種講演会、展示会など、平和事業の委託先である「平和を考える茅ヶ崎市民の会実行委員会」やさまざまな団体と連携しながら、平和啓発事業を実施した。折り鶴というツールを使うことにより、幅広い世代に向けて平和の尊さについて考える機会を創出した。	平和に関する展示会等イベントの回数	4回	6回	S	変動なし		
					1,327,000	1,422,000								
2	男女共同参画社会の実現に向けた啓発等推進事業	1	1.15	一般	3,100,000	1,888,000	男女共同参画社会の実現に向けた理解の促進を目的として、男女共同参画推進センターを拠点とした講座や講演会等を開催し、意識啓発や情報提供を行った。講座や講演会等の参加者に対してアンケートを実施し、参加者の意識変化の把握に努め、啓発効果の低いものは廃止するなど事業のスクラップ＆ビルドを推進して事業効果を高めたことで、近年低下傾向にあった施策指標である「男女の地位における平等感」の数値を向上させることができた。	講座等事業参加者数	620人	752人	S	変動なし		
					2,526,769	1,775,890								

3	ゆかりのまち交流事業	3	0.24	一般	617,000 609,036	1,040,000 1,038,080	ゆかりのまち岡崎市との友好親善を深めるため、市民バスツアー・青少年交流事業(小学生ミニバスケットボール)を行った。青少年交流事業では、佐久市も参加し新たな交流に取り組んだ。また、ゆかりのまち提携35周年を記念して岡崎市より寄贈された石造ベンチ2基を茅ヶ崎駅北口ペデストリアンデッキ上に設置し、歴史や文化について触れる機会を創出した。	交流事業実施回数	2回	2回	S	変動なし		
4	相談事業	1	2.32	一般	6,710,000 6,112,671	6,848,000 6,614,352	離婚等夫婦の問題、家族の問題、経済的な問題、暴力の問題、子どもの問題など様々な問題を抱える女性を支援して女性が安心して暮らすことができる社会の実現を目指して「女性のための相談室」を男女共同参画推進センターに設置し、専門相談員による電話相談・面談相談及び女性弁護士による法律相談を実施した。平成29年度よりも多くの相談を受け、安心・安全な暮らしの実現に貢献することができた。	相談件数	620件	688件	S	変動なし		
5	国際化に対応した地域交流の支援	2	0.11	一般	107,000 106,900	107,000 106,998	市民ボランティア団体と連携しながら、市内在住の外国人や海外の人々との交流活動、国際理解講座、外国人による日本語スピーチコンテストなどを行い、地域での交流支援に取り組んだ。国際交流支援市民ボランティア団体連絡会議を開催し、外国人のニーズの把握や情報提供を図り、多様性のある社会の実現に貢献した。	共催事業数	6事業	8事業	S	変動なし		
6	国際化に対応した行政サービスの提供	2	0.51	一般	40,000 40,000	339,000 249,000	外国語版便利帳の英語、中国語、韓国語の翻訳を行い、編集作業を行った。また、外国人市民に日本語を教えるボランティア講師を養成するため、市民の方向けに「やさしい日本語を使った外国人サポート講座」を開催し、「理解しあう心」をテーマに外国人市民の日本語学習のサポートや、交流するときに役立つ基礎知識を学ぶ講座を行い、参加者の増加が見られた。	事業参加者数	40人	62人	S	増加		
7	ピーストレイン平和大使広島派遣事業	4	0.22	一般	1,255,000 1,210,355	1,190,000 1,077,228	「平和について」ポスター・作文コンテストの受賞者を広島で行われる平和記念式典に派遣し、30年度は「ひろしま子ども平和の集い」において折り鶴交流を行っているホノルル市のボランティア高校生との交流を行った。次代を担う子どもたちに、戦争の悲惨さや平和の尊さなどを肌で感じ取ってもらう機会を創出した。	平和大使派遣実施月	8月	8月	S	変動なし		
8	「平和について」ポスター・作文コンテスト事業	4	0.28	一般	22,000 20,670	18,000 16,988	次代を担う子どもたちに、広く平和の大切さについて考えてもらうため、「平和について」ポスター・作文コンテストを実施した。応募総数は減ったものの、戦争の悲惨さや平和の尊さなどを改めて考えてもらう機会を創出した。	応募作品数	2,190点	2,051点	S	変動なし		
9	女性問題の研究調査	1	0.51	一般	177,000 172,504	192,000 178,925	男女共同参画に関する市内外の情報を収集して情報誌「いこりあ通信」を発行し、市民の男女共同参画意識の高揚に寄与した。また、男女共同参画社会の実現に向けた施策に反映するため、はがきによる市民の意識調査を継続的に実施し、経年変化を調査した。男女共同参画社会の形成に資する情報を、わかりやすい形で一般に公開することで、市民の理解を深めることに寄与した。	情報誌発行回数	2回	2回	S	変動なし		
10	人権同和対策に関すること	1	0.11	一般	881,000 782,875	881,000 789,652	市職員への研修や市民への講演会を行い、ホームページ上で性的マイノリティへの取り組みを掲載し、性の多様性に対する理解や相談窓口について周知啓発を行った。あらゆる人が心豊かに自分らしく生活でき、不当な差別を受けることがない社会の実現に向けた啓発機会を創出した。	市主催事業実施回数	1回	1回	S	変動なし		

11	平和啓発事業(啓発看板移設)	4	0.02	一般	0 0	0 0	茅ヶ崎駅南口駅前広場改修工事に伴い、「平和都市宣言」、「核兵器廃絶平和都市宣言」、「交通安全都市宣言」の看板をリニューアルする予定だが、移設時期未定のため引き続き調整を行っている。	設置時期	-	-	実績なし	変動なし		
12	都市交流事業	3	0.42	一般	400,000 0	1,045,000 0	「災害時における相互応援に関する協定」を締結した長野県佐久市との間で、30年度は佐久市の子どもたちが初めて本市を訪れ、ジュニアリーダーによる交流を行った。ハワイ州ホノルル市・郡との市民交流事業として、誰もがハワイの文化に触れ、参加しやすいイベントとして茅ヶ崎ロコ・スタイル・フェスティバルを共催事業として初めて実施し、様々なハワイ文化に触れる機会を創出した。	市民交流事業の開催月	11月	10月	S	増加		
13	地域における男女共同参画の推進	1	0.28	一般	0 0	0 0	地域の取組に男女共同参画の視点を浸透させ活力ある地域社会を形成するため、講座を通じて地域づくりの方針・意思決定過程への女性の参画について意識啓発を行った。公民館との共催により公民館において出前講座を実施する新機軸の試みにより、男女共同参画の視点に立った地域運営にへの関心を喚起することができた。	啓発講座等実施数	3回	3回	S	変動なし		
合計					H30予算(円)	14,975,000								
					H30決算(円)	13,269,113								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

男女共同参画課の平成30年度における政策的な事業数は13事業であり、これらの事業の評価結果は、「S」12事業、「実績なし」1事業となっている。
各事業の評価結果は、ほとんど全ての事業が「S」となっていることから、大半の事業で一定の成果を出すことができたものと考えている。
「平和啓発看板移設事業」が「実績なし」となった理由は、当事業は茅ヶ崎駅南口周辺道路整備事業に伴う都市アピール看板の移設事業ですが、茅ヶ崎駅南口周辺道路整備事業の遅れにより、当該年度の実施が見送られたためである。
施策目標の達成状況を分析すると、「固定的性別役割意識」については、短期的な数値の増減はあるものの、長期的には緩やかに増加しており、第4次実施計画における最終年度の目標値を既に達成し、意識の面では男女共同参画が着実に浸透してきていることが確認できる。しかしながら、「男女の地位における平等感」については、低位で伸び悩んでおり、実態として社会の様々な場面で未だに男女間の不平等が根強く残っていることが考えられることから、引き続き広報・啓発活動の充実を図る必要がある。
男女共同参画、平和、人権等に係る啓発事業については、一つ一つの事業の成果が直ちに施策目標の達成に寄与するものではないが、依然として重要な取組であるので、目標を達成する上で適切な事業となっているか、事業の効果・成果を丁寧に分析、改善する余地のある事業については、社会情勢や法令等の動きを注視しながら、積極的に改善を図っていく。
職員の時間外勤務に着目すると、総時間で1,124時間、一人当たりに換算すると月平均18.7時間であり、29年度より121時間増加している。これは、「都市交流事業」における、「茅ヶ崎ロコスタイル・フェスティバル」の立ち上げ及び「ゆかりのまち交流事業」における、提携35周年記念寄贈石造ベンチ設置に伴い業務量が増加したことが原因であるが、職員行動改革において導入した様々なマネジメント手法を活用し、業務の生産性を高めることで、時間外勤務時間の増加は最小限度に留めることができたものと考えている。しかしながら、男女共同参画社会の実現には、長時間労働を是正し、ワークライフバランスを実現することが必要不可欠であるので、庁内において率先して時間外勤務の縮減に取り組み、範を示していかなければならないと考えている。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は -)	事務改善の内容
-	-	-
-	-	-

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は -)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
1	平和啓発事業	ピースポール(世界平和祈願柱)は、その表示内容が平和を願うものであり、本市が平和事業を推進していることから、市民の寄贈を受け設置しているが、SNS等の発達により看板等の設置による周知啓発は当初の目的は達成していると考えため、今後は老朽化や設置場所の工事等の期を捉えて撤去するものとする。
-	-	-

6 働かたの見直しにおける取り組み結果(28-30年度の3か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

取り組みの結果

平成29年度に職員行動改革における部門別の取り組みに参画して得られた、スケジュール管理、タスク管理、リソース管理の3つの手法を非常勤嘱託職員に適用し、アウトプット量を増やすことに成功した。これにより、新たなイベントの立ち上げ等により業務量が増大する中であっても、時間外勤務時間の増加を最小限度に留めることができた。